NXPowerLite™
デスクトップエディション

NXPowerLite導入マニュアル

本マニュアルでは、NXPowerLiteの大量導入を省力化する方法などについて解説します。

本マニュアルには、以下の3つの情報が記載されています。

A. 複数のPCにNXPowerLiteを大量導入する場合
B. NXPowerLiteを既にインストール済みのPCで、全てのユーザアカウントにシリアルナンバーを適用する場合
C. インストール時やインストール後に、各種設定を任意の値に変更する場合

A. 複数のPCにNXPowerLiteを大量導入する場合

下記の方法を実行すると、NXPowerLite 5 のインストール作業を自動化することができます。インストールを実行するには、[Administrator]の権限が必要です。

この方法でシリアルナンバーを適用した場合には、
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Neuxpower\NXPowerLite\5.0] または
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Neuxpower\NXPowerLite\5.0]
にシリアルナンバーが登録されますが、標準インストール(「NXPowerLiteSetup5x_x.exe」をダブルクリックしてインストール)によるマイナーバージョンアップを行った場合、上記レジストリに含まれる情報が削除されます。

そのため、マイナーバージョンアップの際も以下の方法を使用した上書きインストールを行ってください。標準インストールによるマイナーバージョンアップを行った場合、バージョン 5.x.x は体験版または体験期限切れとして起動しますが、シリアルナンバーを登録することでご利用できます。

➢ NXPowerLite 5 (NXPowerLiteSetup5*.exe インストーラ)の導入方法

- 必要なファイル
  NXPowerLite 5のインストーラ本体「NXPowerLiteSetup5*.exe」(* は数字)
  バッチファイル

- インストール方法
  1. NXPowerLite 5 のインストーラをローカルもしくはネットワーク上の任意の場所に保存します。

2. メモ帳などのテキストエディタを開き、以下の記述例を貼り付けて(貼り付け時にダブルクオーテーション「"」が全角になる場合がありますので、その場合は半角に変更してください)バッチファイルを作成します。(フォルダのパス名はインストーラを保存した場所に、[NXNAME]で指定するユーザ名および[NXCODE]で指定するシリアルナンバーは、お客様ご自身のものに変更してください)なお、[/quiet]オプションを使用することで、ダイアログ上で各種設定を行う必要がなくなります。また、ユーザ名とシリアルナンバーは、同一 PC 上の全てのユーザアカウントに適用されます。

   -書式-
   NXPowerLiteSetup5*.exe /quiet NXNAME="ユーザ名" NXCODE="シリアルナンバー"

   ---バッチファイル記述例----------
   Z:\フォルダ名\NXPowerLiteSetup5*.exe /quiet NXNAME="オーシャン太郎" NXCODE="12345-12345-12345-12345-12345"
   ----

3. 作成したファイルに任意のファイル名を付け、拡張子を[.bat]にして保存します。

4. 作成したバッチファイルを任意の場所に保存します。

5. クライアント PC からバッチファイルを実行すると、各クライアント PC 上でサイレントインストールが実行されます。

- インストール方法(特定の連携機能をインストールしない場合)

1. NXPowerLite 5 のインストーラをローカルもしくはネットワーク上の任意の場所に保存します。

2. メモ帳などのテキストエディタを開き、以下の記述例を貼り付けてバッチファイルを作成します。(フォルダのパス名はインストーラを保存した場所に変更してください)

   なお、[/quiet]オプションを使用することで、ダイアログ上で各種設定を行う必要がなくなります。また[REMOVE]にはインストールしない連携機能を表すプロパティ値(Outlook 連携をしない場合は「OutlookIntFeature」)を指定します。各連携機能を表す値は以下の【REMOVE プロパティ値一覧】を参照してください。

   -書式-
   NXPowerLiteSetup5*.exe /quiet ADDLOCAL=ALL REMOVE=対象外の連携機能に該当するプロパティ値

   ---バッチファイル記述例（Outlook 連携機能のみインストールしない場合）----------
   Z:\フォルダ名\NXPowerLiteSetup5*.exe /quiet ADDLOCAL=ALL REMOVE=OutlookIntFeature NXNAME="ユーザ名" NXCODE="シリアルナンバー"

   ※インストール対象外の連携機能を複数指定する場合は、[REMOVE]の各プロパティ値を「, (カンマ)」で区切ります。

【REMOVE プロパティ値一覧】

PowerPointIntFeature　(PowerPoint 連携)

WordIntFeature　(Word 連携)

ExcelIntFeature　(Excel 連携)

OutlookIntFeature　(Outlook 連携)

OutlookExpressIntFeature　(OutlookExpress および Windows メール連携)

LotusNotesIntFeature　(LotusNotes 連携)

ExplorerIntFeature　(Explorer 連携)

3. 作成したファイルに任意のファイル名を付け、拡張子を[.bat]にして保存します。

4. 作成したバッチファイルを任意の場所に保存します。

5. クライアント PC からバッチファイルを実行すると、各クライアント PC 上でサイレントインストールが実行されますが、指定した連携機能はインストールされません。

B.　NXPowerLiteを既にインストール済みのPCで、全てのユーザアカウントにシリアルナンバーを適用する場合

NXPowerLiteは、製品版としてシリアルナンバーを適用した後も、異なるアカウントでWindowsにログインした場合は体験版として起動します。下記の方法を実行することにより、同一PC上の全てのアカウントにシリアルナンバーを適用することが可能です。この方法を実行するには、[Administrator]または[Power Users]の権限が必要です。

なお、この方法でシリアルナンバーを適用後、標準インストール（「NXPowerLiteSetup5x_x.exe」をダブルクリックしてインストール）によるマイナーバージョンアップを行った場合には、上記レジストリに含まれる情報が削除されます。そのため、マイナーバージョンアップの際は、本マニュアルの「A.　複数の PC に NXPowerLite を大量導入する場合」を参考に上書きインストールを行ってください。標準インストールによるマイナーバージョンアップを行った場合、バージョン　5.x.x は体験版または体験期限切れとして起動しますが、シリアルナンバーを登録することでご利用できます。

➢ **NXPowerLite 5 の場合**

下記を参考にレジストリスクリプトを作成し、シリアルナンバーを適用したい PC 上でファイルを実行します。

- レジストリスクリプトの作成方法

1. メモ帳などのテキストエディタを開き、以下の記述例をコピーして貼り付けます。(ユーザ名とシリアルナンバーは、それぞれ正しいものに変更してください。一行目の「REGEDIT4」は必須です。)

---レジストリスクリプト記述例(32bit OS の場合) ----------

```
REGEDIT4

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Neuxpower¥NXPowerLite¥5.0]
"Registered name"="オーシャン太郎"
"Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"
```

---レジストリスクリプト記述例(64bit OS の場合) ----------

```
REGEDIT4

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Neuxpower¥NXPowerLite¥5.0]
"Registered name"="オーシャン太郎"
"Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"
```

---

2. 作成したファイルに任意のファイル名を付け、拡張子を[.reg]にしてから保存し、テキストエディタを終了します。

C. インストール時やインストール後に、各種設定を任意の値に変更する場合

レジストリスクリプト内に下記の値を追加することにより、圧縮レベルなどの各種設定を任意の値に変更することが可能になります。なお、既定値の適用後にNXPowerLiteのUI上で再度設定が変更された場合は、変更後の設定が有効になります。

レジストリスクリプトの作成方法については、[B. NXPowerLiteを既にインストール済みのPCで、全てのユーザアカウントにシリアルナンバーを適用する場合]の記述を参考にしてください。

➢ **全ユーザアカウントに適用可能な設定**

▼32bit OS の場合

[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Neuxpower\NXPowerLite\5.0]

▼64bit OS の場合

[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Neuxpower\NXPowerLite\5.0]

- ユーザ名

  "Registered name"="name"

- シリアルナンバー

  "Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"

なお、全アカウントに適用可能な設定を行った後、標準インストール（「NXPowerLiteSetup5x_x.exe」をダブルクリックしてインストール）によるマイナーバージョンアップを行った場合には、この方法で登録したレジストリ情報が削除されるため、マイナーバージョンアップ後に再度、この設定を行ってください。

➢ **実行時のユーザアカウントのみに適用可能な設定**(レジストリスクリプトを実行したユーザアカウントでのみ有効になります)

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\5.0]

- ユーザ名

  "Registered name"="name"

- シリアルナンバー

  "Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\5.0\Desktop]

- 圧縮レベル [標準圧縮=Screen][高画質圧縮=Print][モバイル機器用圧縮=Mobile][カスタム圧縮=Custom]

  "Compression mode"="Screen"

- JPEG 圧縮を許可 [00=許可しない][01=許可する]

  "Enable JPEG"=hex:01

- Office、PDF、JPEG それぞれの JPEG 画質 [00000001=低画質]～[00000009=高画質]

  "JPEG quality (Office)"=dword:00000007

  "JPEG quality (PDF)"=dword:00000007

  "JPEG quality (JPEG)"=dword:00000007

- Office、PDF、JPEG それぞれの画像のサイズ変更を許可 [00=許可しない][01=許可する]

  "Enable resizing (Office)"=hex:01

  "Enable resizing (PDF)"=hex:01

  "Enable resizing (JPEG)"=hex:01

- 画像のトリミングを許可 [00=許可しない][01=許可する]

  "Enable cropping"=hex:01

- 埋め込まれた文書の図形化 [00000000=実行しない][00000001=常に実行][00000002=そのつど確認する]

  "Flatten mode"=dword:00000002

- プライベートデータの削除 [00000000=実行しない][00000001=常に実行][00000002=そのつど確認する]

  "Delete PieceInfo mode"=dword:00000002

- テキストを追加

  "Modifier"=" (NXPowerLite)"

- テキストを追加(前・後) [00=前][01=後]

  "Modifier After"=hex:01

- 元のファイルの日付と時刻を保持する [00=保持しない][01=保持する]
  "Original DateTime"=hex:00

Outlook、Outlook Express、Windows メール、Lotus Notes にてメールの新規作成画面を開いた際(Lotus Notes の場合は起動した際)、[添付ファイルの最適化]の「有効」・「無効」設定を[1]前回設定した値を保持する、[2]有効に戻す、[3]無効に戻す のいずれかに設定することが可能です。レジストリスクリプトの記述については以下を参考にしてください。

▼Outlook の場合

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\5.0\Outlook]

- Outlook でメール新規作成画面を開いた際の[添付ファイルの最適化]の「有効」・「無効」設定
  [00000000=前回の設定を保持する][00000001=常に有効に戻す][00000002=常に無効に戻す]
  "Attachment Optimization"=dword:00000000

▼Outlook Express / Windows メールの場合

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\5.0\OutlookExpress]

- Outlook Express / Windows メールでメール新規作成画面を開いた際の[添付ファイルの最適化]の「有効」・「無効」設定
  [00000000=前回の設定を保持する][00000001=常に有効に戻す][00000002=常に無効に戻す]
  "Attachment Optimization"=dword:00000000

▼Lotus Notes の場合

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\5.0\Notes]

- Lotus Notes を起動した際の「NXPowerLite 有効」・「NXPowerLite 無効」設定
  [00000000=前回の設定を保持する][00000001=常に有効に戻す][00000002=常に無効に戻す]
  "Attachment Optimization"=dword:00000000

サポート

不明点や不具合などがございましたら、下記NXPowerLite FAQページをご参照ください。

URL: http://www.nxpowerlite.jp/support/

FAQをご覧になっても問題が解決しない場合や、その他詳細につきましては、以下のページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

URL: http://www.nxpowerlite.jp/about/contact-us/

NXPowerLiteに関するお問い合わせはメールのみになります。電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

NXPowerLite 開発元

Neuxpower Solutions Ltd.

URL: http://www.neuxpower.com/

NXPowerLite 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: http://www.oceanbridge.jp/